

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道 ^{やつはしなかしたら} 八橋中設楽線				
事業箇所	きたしたら ^{とうえい} 北設楽郡東栄町大字 ^{ふりくさ} 振草				
事業のあらまし	<p>一般県道八橋中設楽線は、北設楽郡設楽町から東栄町に至る延長 8.3km の路線であり、一般国道 151 号と東栄町内の集落を接続し、三河山間地域の暮らしを支える重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は、東栄町大字振草地内に位置し、幅員が狭隘で線形不良でありながら、路線バスのルートになっており、車両のすれ違いが困難であるため、山間地域における拠点間の移動や、日常生活の移動の妨げとなっている。</p> <p>このため、「山間や離島などの暮らしを支える基盤整備」を主な目的として、一般県道八橋中設楽線の道路拡幅整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1)山間・離島対策の推進</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2018 年度)	再評価時 (2023 年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2018 年度 ～2030 年度	2018 年度 ～2030 年度		
	事業費 (億円)	8.4	8.8		
	経 費 内 訳	工事費	5.9	5.9	修正設計による委託費の増加 (+0.4 億円)
		用補費	2.3	2.3	
		その他	0.2	0.6	
事業内容	現道拡幅 延長 0.8km 幅員 5.0m 1 車線	現道拡幅 延長 0.8km 幅員 5.0m 1 車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 線形が不良なため見通しが悪く、隘路区間であり、車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の確保が必要である。 <p>【再評価時の状況】</p> <p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 線形が不良なため見通しが悪く、隘路区間であり、車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の確保が、依然として必要性は高い状況である。 <p>【変動要因の分析】</p> <p>依然として安全・円滑な交通に支障をきたしており、引き続き整備の必要性がある。</p>			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		

		<p>【理由】</p> <p>線形不良区間における自動車の安全性・走行性の向上の観点から、事業の必要性に大きな変化がないため。</p>																																																																																																																																																						
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="4">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="10">←————→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="4">2.8</td> <td colspan="5">5.6</td> <td colspan="5"></td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4">2.8</td> <td colspan="10"></td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="4">2.8</td> <td colspan="5">6.0</td> <td colspan="5"></td> <td>8.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.8</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.8</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>2.8</td> <td>2.8</td> <td>100%</td> <td>8.8</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>100%</td> <td>5.9</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>2.3</td> <td>1.9</td> <td>83%</td> <td>2.3</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> <td>300%</td> <td>0.6</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約60%</p>			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計	工 種 区 分	調査・設計	←————→													/	用地補償	←————→													工事				←————→										事業費 (億円)	当初計画	2.8				5.6										8.4	実績	2.8														2.8	今回計画	2.8				6.0										8.8		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.8	0.0	0%	0.8	0%	事業費(億円)	2.8	2.8	100%	8.8	32%	工事費	0.3	0.3	100%	5.9	5%	用補費	2.3	1.9	83%	2.3	83%	その他	0.2	0.6	300%	0.6	100%
			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計																																																																																																																																								
	工 種 区 分	調査・設計	←————→													/																																																																																																																																								
		用地補償	←————→																																																																																																																																																					
		工事				←————→																																																																																																																																																		
	事業費 (億円)	当初計画	2.8				5.6										8.4																																																																																																																																							
		実績	2.8														2.8																																																																																																																																							
		今回計画	2.8				6.0										8.8																																																																																																																																							
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																			
		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																		
延長(km)	0.8	0.0	0%	0.8	0%																																																																																																																																																			
事業費(億円)	2.8	2.8	100%	8.8	32%																																																																																																																																																			
工事費	0.3	0.3	100%	5.9	5%																																																																																																																																																			
用補費	2.3	1.9	83%	2.3	83%																																																																																																																																																			
その他	0.2	0.6	300%	0.6	100%																																																																																																																																																			
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・完了予定年度に変更なし。</p>																																																																																																																																																							
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>・地元より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>・2030年度までに整備が完了する予定である。</p>																																																																																																																																																							
判定	<p>A</p> <p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】</p> <p>・事業は順調であり、予定通り2030年度までに整備完了が見込まれるため。</p>																																																																																																																																																							

Ⅲ 対応方針	
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度 	